





安全上のご注意




- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

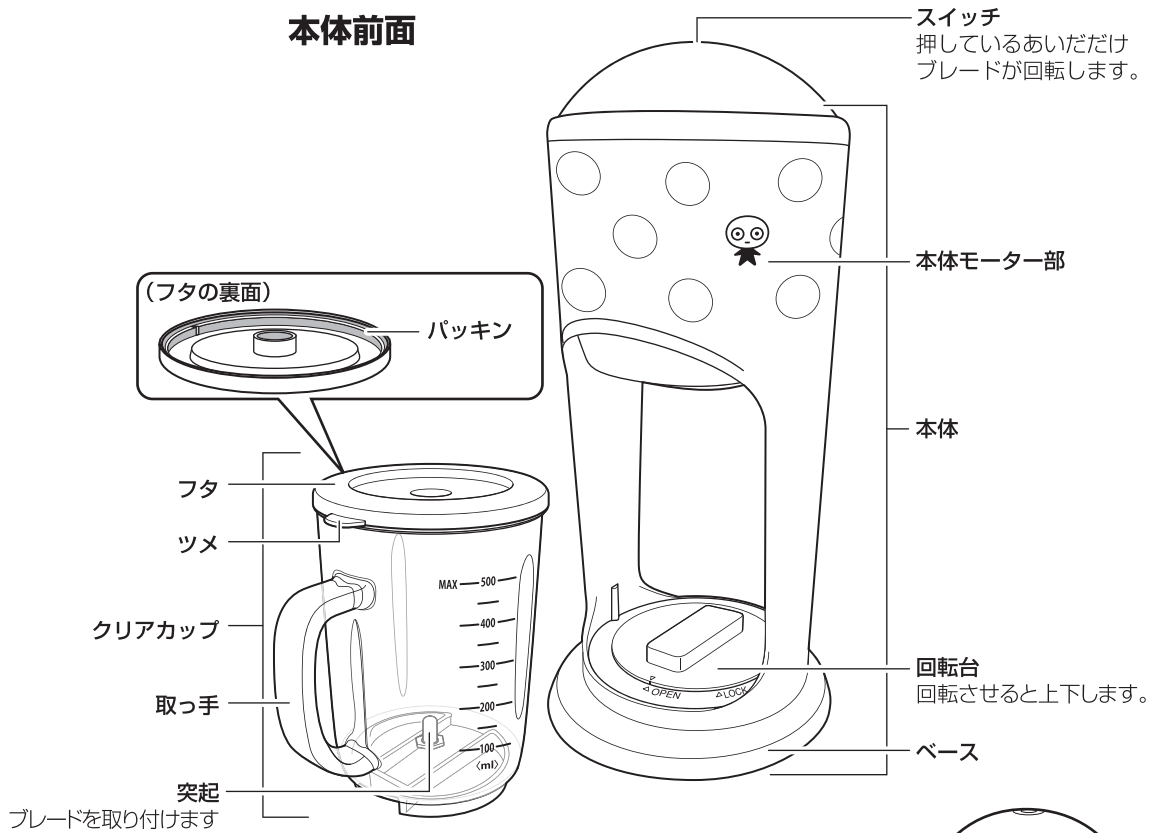
 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 感電・火災の原因になります。	 指示	配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 感電・発熱・火災の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	お手入れのときは電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 接触禁止	ブレードの刃部分には直接ふれない。 けがの原因になります。
	運転中に本体からクリアカップをはずしたり、移動させたりしない。 けが・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 めれ手禁止	めれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	不安定なところでは使用はしない。 けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 水洗いしない。 ショート・感電の原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 また、電源プラグの抜き差しで運転の開始・停止を行わない。 感電・ショート・発火の原因になります。		

! 注意

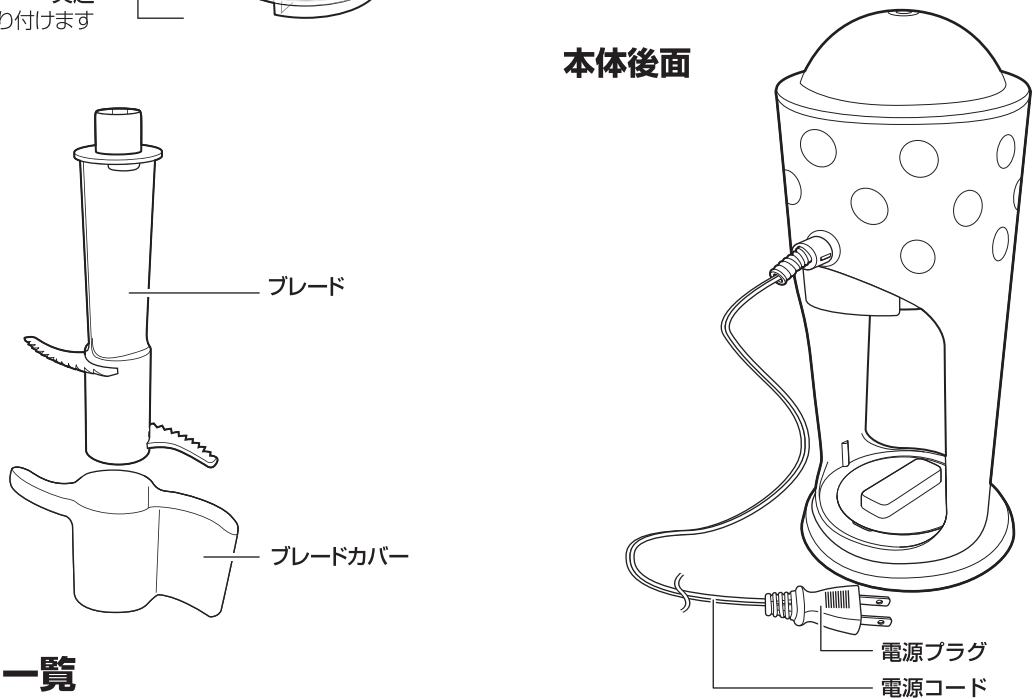
 指示	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>スーパー・コンビニなどで販売しているかたい氷は使用しない。 故障の原因になります。</p>
	<p>氷は2cm角以内にする。 これより大きいと十分な調理ができず、ブレードが停止したり大きな音の発生の原因になります。</p>		<p>業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。</p>
	<p>取り出したブレードは取り扱いに十分気をつける。 鋭利で危険なため、けがの原因になります。</p>		<p>指定以外のものをクリアカップに入れない。 けが・故障の原因になります。</p>
	<p>調理したものを取り出すときにはスプーンなどを使用する。 指など入れるとけがの原因になります。</p>		<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>調理する量に十分注意して運転する。 容量が最大(500ml)を超えないようにする、極端に少ない食材で使用しない。</p>		<p>クリアカップ・ブレード・フタを電子レンジに入れない。 変色・変形・故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>直射日光があたる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形・故障の原因になります。</p>	<p>1分以上の連続運転をしない。 モーターの故障の原因になります。 1分使用したら5分休ませる。</p>	
	<p>変形や破損のあるときは使用しない。 感電・火災・やけどの原因になります。</p>	<p>定格時間の繰り返し動作を5回以上行なわない。 1分使用で5分休ませた場合でも5回以上は連続で使用しない。 サーモスタットが作動し動作が停止します。</p>	
	<p>電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災・感電・やけどの原因になります。</p>	<p>空転しない。極端に少ない食材、コロロだけで使用しない。 軸が焼き付き、故障の原因になります。</p>	
	<p>電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。</p>	<p>食材が多すぎたり、そのほかの原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使用しない。 本書の正しい使いかたを確認してください。 けが・故障の原因になります。</p>	
	<p>不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない、使わない。 転倒して外部に調理物がこぼれるだけでなく、感電・故障・火災・やけどの原因になります。</p>	<p>40°C以上のお湯で洗わない。食器洗浄乾燥機を使用しない。 変形・変色・破損の原因になります。</p>	

各部の名称とはたらき

本体前面



本体後面



梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	レシピ.....	1 冊
クリアカップ.....	1 個	ブレードカバー (ブレードに取り付け済) ...	1 個
ブレード.....	1 本	取扱説明書 (保証書含む).....	1 冊
フタ.....	1 個		

正しい使いかた

初めて使用するときは

- ・梱包部品一覧（4ページ下）から、すべて揃っていることを確認してください。
- ・本体以外のフタやクリアカップ、（ブレードカバーを取りはずして）ブレードなどを十分に洗ってください。（10ページの「お手入れと保存」に従って行ってください。）

※本体の外観に若干の色味の差や、透明部分に筋状のもの（ウェルドライン）が見えることがありますが、製品の品質、性能上問題はありませんが、あらかじめご了承ください。

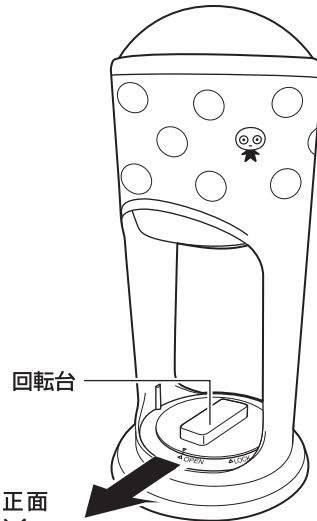
使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。
モーターでブレードを回転させることから、少なからず振動が起こるため、動きに強い安定したテーブルなどの上に設置してください。



- ・水平で安定した場所で使用する。
- ・火気の近くや、水気の多いところでは使用しない。
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。

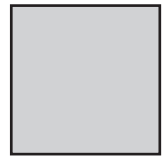


回転台は正面を向けておく

（▲OPENに回転台の方向を合わせる）

氷の準備のしかた

- ・冷凍庫で作った氷
家庭の冷凍庫で2cm角以内（約18g）の製氷トレーで氷を作ってください。



参考：2cm角
（実サイズ）

《本製品はUHA味覚糖・コロロ専用です》

UHA 味覚糖・コロロと家庭で作った通常の氷で調理するものです。

スーパー・コンビニなどで市販されているかたい氷は使用できません。

そのほかの食材は使用できません。

特に以下の食材は絶対に使用しないでください。

- ・納豆・アロエ・じねんじょ・長芋などの芋系・小麦粉・ご飯などの粘りが出るもの
モーターに負担をかけ、故障の原因となります。
- ・40℃以上になった食材や液体
調理物が吹き出したり、ブレードやフタ、本体をいためます。
- ・肉類・魚類など
ブレードやモーターに負担をかけ、故障の原因となります。

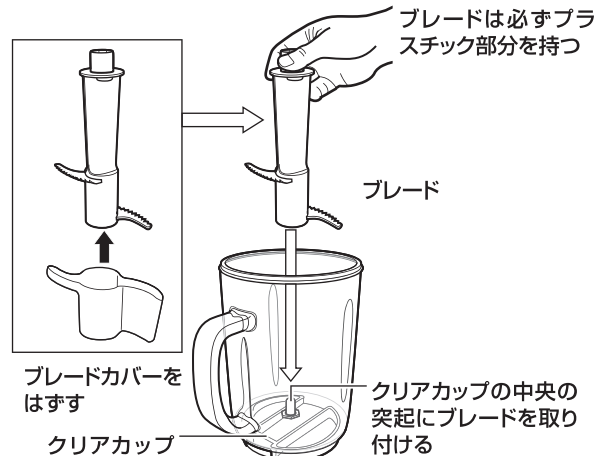
作る準備

1. クリアカップにブレードを取り付ける

ブレードからカバーを取りはずし、ブレードをクリアカップに取り付けます。



- ・ブレードの刃部分には直接手でふれない。
- ・すでに食材が入ったクリアカップにはブレードを取り付けず、ブレードとクリアカップのあいだに食材がはさまり、故障の原因となります。



正しい使いかた（つづき）

ココロと氷で 簡単スイーツ 作りかた

食材（1人分）

ココロ.....6粒
氷.....5個

1. クリアカップにブレードが正しく入れてあることを確認する
 2. 氷をクリアカップに入れる
 3. ココロをクリアカップに入れる
 4. フタのツメをクリアカップの取っ手に合わせて取り付け
 5. クリアカップを本体の奥まで入れ、取っ手を持って右に回して本体に正しく取り付ける
 6. フラッシュ運転で約10秒くりかえしてできあがり
- ※ 氷の大きさは2cm角以内にしてください。
※ 氷のかたまりが残ることがあります。取り除いてください。



ココロ グレープ



ココロ マスカット

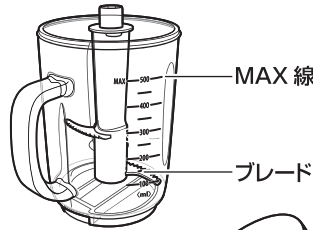
2. クリアカップに食材（氷とココロ）を入れる

●2人分を作る

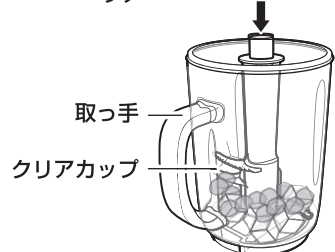
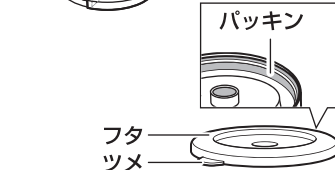
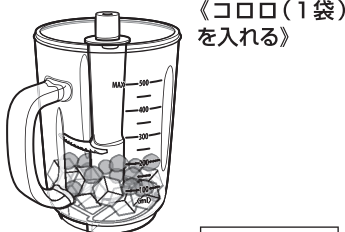
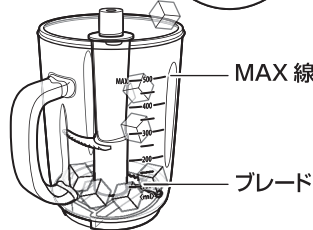
- 氷を10個入れる（約180g）
スーパー・コンビニなどで販売しているかたい氷は使用しないでください。
- ココロ一袋分をクリアカップに入れてください。
- 氷やココロをMAX線を超えないように入れてください。
- 調理禁止食材を入れないでください（5ページ参照）。

●1人分を作る

1人分は、2人分の半分の量で作ってください。



《氷を入れる》
約10個



**ココロ
のみでは調理
をしない**
必ず氷と一緒に
調理してください



- 注意**
- 氷を入れるときは、適切な量を入れる。食材の量が多すぎるとブレードが回らなかつたり、モーターに負担がかかり、故障や事故の原因になります。
 - 家庭の冷凍庫で2cm角以内（約18g）の製氷トレーで氷を作ってください。
 - ココロだけで調理しない。

ブレード調理禁止食材

- スーパー・コンビニなどで販売しているかたい氷は使用しない。
- ブレードやモーターに負担をかけ、故障の原因となります。

※食材以外のものはクリアカップ内に絶対に入れないでください。

3. クリアカップにフタを取り付ける

フタの穴にブレードの先端部を通し、フタのツメを取っ手に合わせて取り付けます。

- フタをきちんと取り付けないと、安全装置がはたらき、動作が開始しません。
- MAX線を超えないようにしてください。
- フタにパッキンが付いていることを必ず確認してください。



注意

フタは密閉ではありません。傾けたり、さかさまにすると、調理物がこぼれる原因になります。

作るときは、氷のかたまりが残ることがあります。凍ってしまったり、大きな氷が残ることがありますので、取り除いてください。

調理のしかた

1. 食材を入れたクリアカップを本体の奥まで入れる 1 2

食材の入ったクリアカップを本体の回転台に合わせて取り付けます。

- ・フタやブレードと本体の接合部に食材や水分が付着していないか確認します。
- ・クリアカップ底部の凹みと、回転台の凸部を合わせて奥の壁に当たるまで入れます。
- ・クリアカップを回転台に入れるときは、傾けずに水平に入れてください。傾けて入れると引っ掛けてしまい、故障の原因となります。



注意
フタのツメの位置がクリアカップの取っ手に合わせられ、しっかりと取り付けられていることを確認する。
本体に入れる際、引っ掛けたり、故障の原因となります。

2. 奥まで入れたクリアカップを取っ手をもって右に回す 3

回転台の手前の▽が本体の▲OPENの印に合っていることを確認してから、回転台の手前の▽が本体の▲LOCKの印に確実に合うように右に回しきってください。



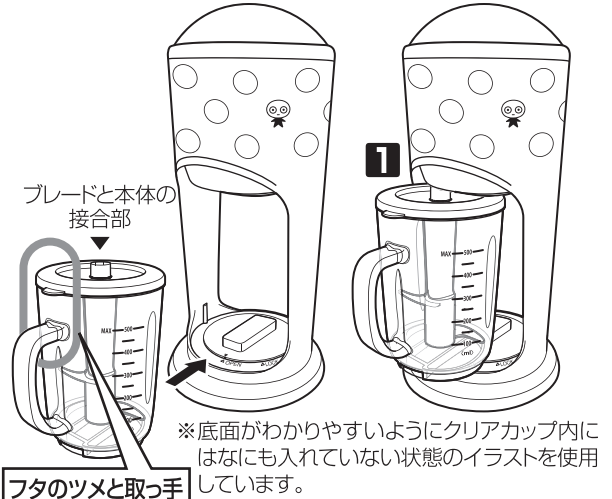
注意
クリアカップを取り付けるときは、クリアカップを回転台から浮かさず、下の回転台にしっかりと合わせて回転させる。
クリアカップだけ回転台から浮かせて回してしまうと、うまくはすれなくなることがあります。
確実に▲LOCKの印が合うように右に回しきってください。
途中でスイッチを押して運転すると故障の原因となります。

右に回すことにより、クリアカップ位置が高くなり、本体モーター部とブレードと本体の接合部が密着します。

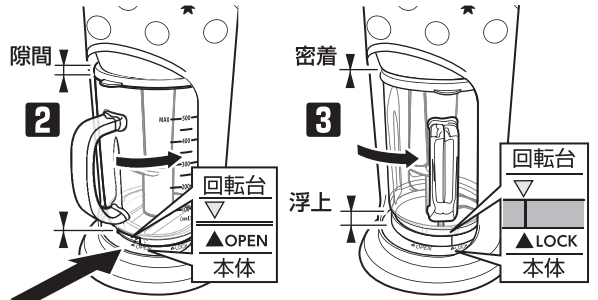
3. 電源プラグをコンセントに差し込む



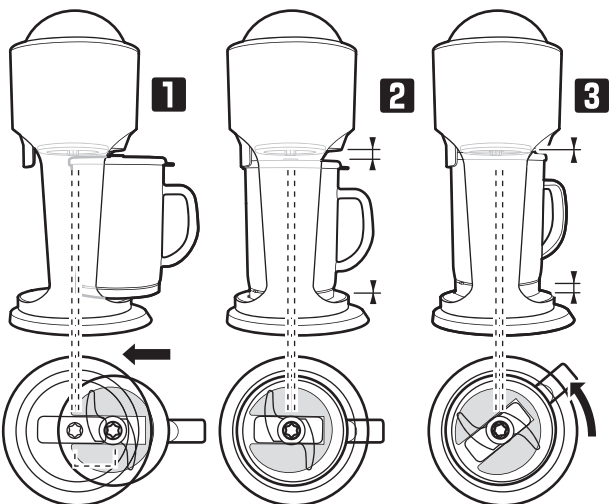
- ・電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱、発火の原因となります。
- ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。



フタのツメと取っ手が合わせられていることを確認



クリアカップ取っ手を右に回すと、回転台によりフタが本体と密着します。



クリアカップを本体の奥まで入れます

ブレードと本体の接合部が一致していることを確認します

クリアカップ取っ手を右に回すと、回転台によりフタが本体と密着します。

正しい使いかた(つづき)

4. スイッチを押して調理を開始する

スイッチを押す手と反対の手で本体をおさえてください。



⚠️ 注意

1分以上連続運転をしない。
1分の連続運転のあとは、必ず5分以上休ませてください。

スイッチを押している間だけブレードが回転し、調理することができます。

- ・スイッチの押しかたはON/OFFの繰り返しでフラッシュ運転してください(1人分は約10秒でできあがります)。

フラッシュ運転

約1~2秒ごとにスイッチを操作して、ON/OFFを交互に続ける。
使用する際は1分以内で止めてください。

ブレードが回らないときやモーター音だけのときは

- ・クリアカップを取りはずして、食材が均等になるように振ったり、スプーンなどで食材の位置を変えてみてください。それでも回らない場合は、分量を変えてください。
- ・それでもブレードが回らないときは、食材の大きさや量を減らしたり分量を変えてください。

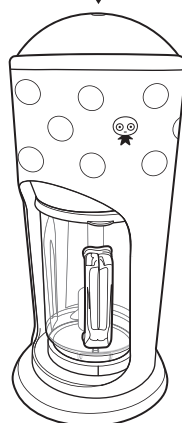
食材がもれてくるときは

- ・すぐに調理を中止してください。
- ・フタにパッキンが付いていることを確認してください。
- ・パッキンが付いていてももれる場合は、食材の量を減らしてから調理を再開してください。

⚠️ 注意

- ・ブレードにはふれない。けがの原因になります。
- ・調理するとき、大きな音がするので環境に気をつける。調理するときには大きな音が出ますので、まわりに十分配慮してください。

スイッチを押す



※わかりやすいように本体からクリアカップを取り出した状態のイラストを使用しています

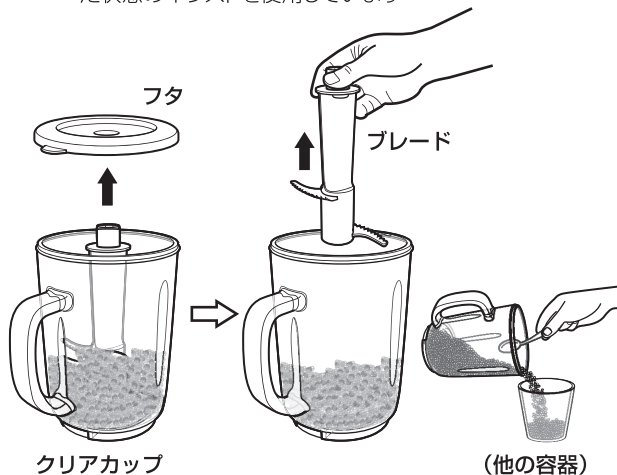
5. 調理後のクリアカップからフタ・ブレードを取りはずす

ブレードの回転が止まったことを確認し、クリアカップを取り付けた逆の手順で本体から取りはずします。

フタ・ブレードも取りはずしてから、スプーンなどで調理したものを他の容器に移してください。

続けて調理するときは、ブレードを洗い、「正しい使いかた」の方法に従って食材を入れてください。



クリアカップを取りはずすときは、水平に取りはずしてください。



⚠️ 注意

調理後のブレードの扱いには十分注意する。調理されたものが付着している状態で安易にふれたりすると、けがの原因になります。


6. 調理が終了したら、電源プラグをコンセントから抜く

 警告	調理が終了したら、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
 注意	調理終了後、調理後のクリアカップからすみやかにフタ・ブレードを取り出してお手入れをする。そのままにしておくと、さびたり、こびりつきや臭いの原因になります。



クリアカップについて

クリアカップに調理物を入れたまま、保存することはできません。

- ・必ず調理後はブレード・フタを取り出してください。
- ・クリアカップからすみやかに調理物を取り出し、お手入れをしてください。

 注意	クリアカップ・ブレード・フタは電子レンジ・冷蔵庫・冷凍庫に入れない。 変色・変形・故障の原因となります。
---	---

お手入れと保存

 警告	お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、動きが止まっていることを確認する。 火災・感電・けがの原因になります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。水洗いしない。ショート・感電の原因になります。 ・お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。変色・変形・感電・故障の原因になります。 ・40°C以上のお湯で洗わない。食器洗浄乾燥機を使用しない。変形・変色・破損の原因になります。

お手入れする

本体をお手入れする

柔らかい布をぬるま湯か食器用洗剤に浸してかたくしぼった布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。

- ・強くこすらないでください。傷がつくおそれがあります。

※電源コード付近を水にぬらさないでください。感電・故障の原因になります。

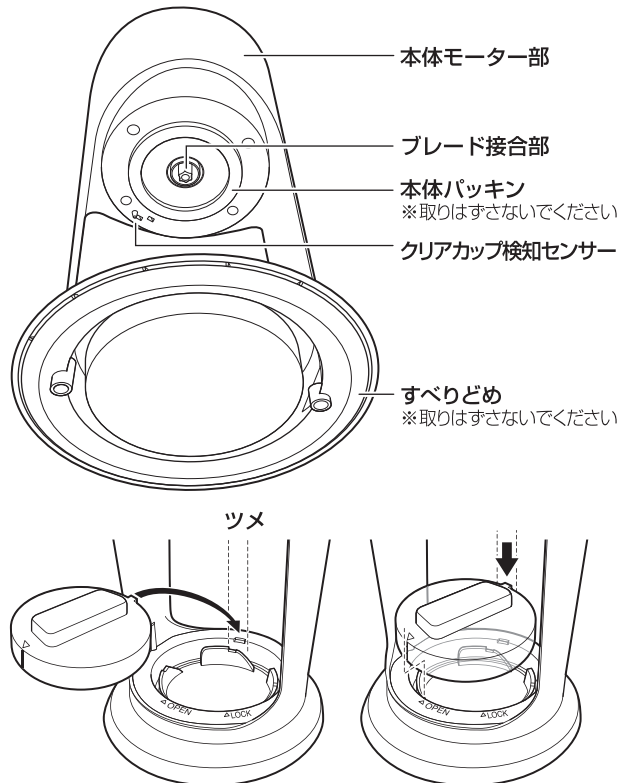
※クリアカップ検知センサーを折らないように注意してください。

本体パッキンやすべりどめ

- ・本体パッキン・すべりどめは、取りはずさないでください。取りはずすと再度取り付けることができないおそれがあります。
- ・シリコン樹脂でできた本体パッキンやすべりどめにコロロの色素がつくことがあります。完全に色素がとれないことがあります。使用上問題ありません。

回転台

- ・回転台を持ち上げると、回転台を取りはずすことができます（回転台、回転台の底部は、お手入れできます。）。
- ・取り付けるときは、回転台の手前の▽と本体の▲ OPEN の印が揃うように取り付けてください。

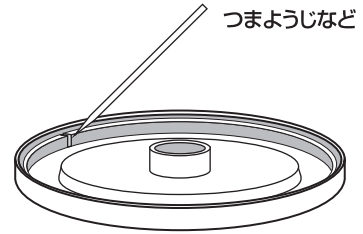


本体OPENの▲と回転台の▽が揃うように取り付ける
 回転台のツメを本体奥の凹部に合わせて取り付ける

お手入れと保存（つづき）

フタをお手入れする

- フタのパッキンははずしてお手入れできます。つまようじなどでフタ裏面のみぞ部より、パッキンを破損しないよう注意してはずしてください。
- また、フタを使用するときは必ずパッキンを装着してください。
- やわらかいスポンジを使用し、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
- 汚れが落ちにくいときは、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。



フタ（裏面）

クリアカップをお手入れする

- やわらかいスポンジを使用し、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
 - 汚れが落ちにくいときは、水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。
 - 色素の強い食材による着色汚れは、酸素系漂白剤を入れ、30分間（目安）つけ置きしてください（酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください）。
- ※ 塩素系漂白剤は使用しないでください。

ブレードをお手入れする

- ブレードと本体との接合部やクリアカップ側の接合部などはやわらかいスポンジを使い、特にきれいにしてください。
 - ブレードの刃の部分は直接ふれず、やわらかいスポンジでお手入れしてください。
 - 色素の強い食材による着色汚れは、酸素系漂白剤につけ置きしてください（酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。）
- ※ 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 完全に乾燥させた上で、幼児の手の届かない、安全な場所に保存してください。

保存のしかた

- お手入れのあと、完全に乾燥させてください。
- お買い上げの製品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- ブレードは付属のブレードカバーに入れて保存してください。



注意

- ブレードをお手入れするときは、十分注意する。
けがの原因となります。
- ブレードは完全に乾燥させる。
乾燥が不十分のままにすると、刃がさびる原因となります。